
 <p>世界へのプレゼントになろう</p>	<p>2015-2016 国際ロータリーのテーマ 世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world</p>	<p>2015-2016 RI会長 K.R.“ラビ”ラビンドラン スリランカ</p>	
<p>第1350回 例会 平成28年4月5日(火)</p>			

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 池田幸平ソングリーダー



■ 会長談話 中川博夫会長



先日は、大芝高原までお越しいただきありがとうございました。補助金事業について南箕輪村より感謝状をいただきましたのでお知らせいたします。

今回の事業を行いながら、細菌学者パスツールの「偉大な人々は目標を持ち、そうでない人々は願望を持つ」、「準備を怠るものにチャンスは絶対に訪れない」。文豪ゲーテの「自分一人で石を持ち上げる気がなかったら、二人でも持ち上がらない」の名言をしみじみとかみしめながら事業展開しました。準備不足は否めず、ご迷惑をおかけした方もいますが、この事業に携わっていただいた会員並びに多くの方々に感謝いたします。特に、私のわがままに最後まで付き合っていたいただいた池田会員・田中会員、ありきたりな言葉ですが、本当にありがとうございました。

看板設置後、効果が気になったので、翌日、大芝高原に行ってみると、散歩中の方が数名じっと見えていました。事業の最終目的、「人間生活が関わる自然との共生を、野鳥を介して理解する」にどれほど役立てていただけるかは不明ですが、ここには、こんなに多くの野鳥がいるのだと気づくことが第一歩だと思っています。

もう少し暖かくなると、家族連れ、保育園・幼稚園児が多く訪れるので、自然観察の手引きとなっていただければとの願望も持っています。

今後についてですが、この事業で知り合った方もいますので、個人的な奉仕活動で「探鳥会」を何回か開く予定です。その節は、会員皆様にお声かけいたしますので、自然に興味がある方、写真に興味がある方、普段運動不足と思っている方、皆さんお越しくください。

ついでに、昨年の地区補助金事業「商店街をバラで彩る植栽支援」についてですが、矢野会員に持ちかけ、快い返事をいただきましたので発表します。

この事業も単年度で終わるのではなく、クラブの負担にならない程度で、当初目的達成のために必要とあれば、今年も何らかの関わりを持たなくてはならないと思います。

地域の要請に応えた事業であったはずですし、ロータリーの顔の見える化の最たるものだと思いますので、矢野会員からこの事業に関する案内がありましたら、お手伝い願います。地域との繋がりを深める良い機会となりますので、私から提案いたします。

■ 慶 祝 4月誕生日祝い ・三澤耕太会員 ・原誠会員 ・小向誠一会員
 ・池田幸平会員 ・池上幸平会員

■ ニコニコボックス

- ◆中川博夫 今、野鳥は繁殖と子育てに向けてとても賑やかな時です。さえずりと地鳴きが交っています。早朝、散歩がてらどうぞ。
- ◆熊谷健 4月3日は地区研修・協議会へ参加して来ました。来期は会員増強委員長を仰せつかっていますので、新入会員の情報をドシドシ寄せて下さい。よろしくお願い致します。
- ◆伊澤和男 地区協議会予定者全員出で最後まで出席していただき、懇親会も有意義に伊那RCと行う事ができました。ありがとうございました。
- ◆唐澤敏治 3月30日第37期定時株主総会が無事終了しました。毎年納税のために苦労しているようなものです。まだやめることができません。
- ◆唐澤千明 高遠城址の桜も開花し、いよいよお花見シーズン到来です。お互い飲み過ぎないように気をつけましょう。
- ◆池田幸平 大芝・野鳥の看板製作させてもらいました。夜の巷で井上会員のご子息に会いました。私が歌を指導していると言いましたから、よろしくとお願いされました。

■ 幹事報告 池上幸平幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・「ロータリーの友」4月号紹介 馬場秀則会員



縦組P11 「不易流行」より

ロータリーの認知度アンケートの結果聞いたことのある人170%、活動を知っている人30%

R I とロータリー財団について

財団は、信頼に値する団体として寄付の用途を明確にして、会員に周知するべきエイズやエボラ、の急をを要する事態に、迅速に対応するべき、理事会で声明を出してお茶を濁すだけではだめ。

昨今R I や財団から上意下達で指示があるが迷惑する。

R I、財団がなぜこのような硬直した融通の利かなくなった団体なのか？

横組みP36 「理事会にて」

会議の様子の説明、タブレットを使用して、事務の効率化を図る。

会員増強問題の説明

横組みP47 「新年度の準備はお早めに」

財団の寄付金の額、会員増強については、40歳未満の新会員を2名増

庄内方言で「ありがとう」「モッケダ」

ご静聴モッケダ

■ 出席報告 会員数37名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者19名 事前メイク5名
出席率75.00% 前回出席率 修正なし

■ 理事会報告 小向誠一直前幹事

1. 創立記念例会・観桜会について
2. 分水RCからの友好桜を観る例会について
3. 分水RCへタカトオコヒガンザクラ苗木の再贈呈について
4. 上伊那グループ5RC合同での地区補助金申請について
5. 4月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて
6. その他



①会長部会 伊澤和男 会長エレクト



国際ロータリーテーマ「人類に奉仕するロータリー」、第2600地区標語「原点に戻り新たな改革を」、地区行動方針「長所を認め合い、絆を深めよう」の詳しい説明があり、特に財団100周年の記念すべき年度となる為一人200ドルを目標にテーマの実践をすることで、国際ロータリーにゾーン変更の気配もあることから会員増強は本気で地区10名増を確保する事の説明があり、原エレクトより楽しい一年になるよう強く希望する旨の挨拶で締め括られた。

③広報・情報部会 清水吉治 次期広報副委員長



地区担当委員長 森川 優（駒ヶ根クラブ）氏により会議が進行されました。

*当地区委員会に於いては下記の目的、目標を掲げ活動を行う

- ・ロータリー活動を多くの一般の人に知ってもらい、理解と支援を促進する
- ・効果的な広報活動や公共イメージの向上によって、ロータリーへの支援が集まり寄付の動機や入会へ魅力が高まることを、ロータリアンに広く認識してもらえるように

努力する。

*今年度の計画、重点事業

1. 地区大会は最高の広報チャンスと考え、大会の新聞広告を実施し、大会の内容を取り上げてもらえるよう働きかける。
2. 地元メディアによる活動報道実現の推進。
3. 「ロータリーの友」に活動が掲載されるよう委員会活動を進める。
4. 報道等で取り上げられた記事の収集を行い、一般の人に参考にして頂く。
新聞等で報道された記事等は、地区事務局へ現物を届ける。
5. 日本ロータリーの広報担当者を講師とし、各クラブの広報担当を対象とした公共イメージ向上についての啓蒙セミナーを開催する。

④職業奉仕部会 井上修 次期職業・社会奉仕委員長



35人の出席で冒頭、横田バスターガバナーよりロータリーへの取組、その姿勢について各クラブで改善、進化させて欲しいと挨拶がありました。次に昨年の出前講座の発表が二題(飯田東中学 松本大学)あり、更に松本大学との産学提携による実情報告で時間の大半を使いました。同大学への出前講座(7月に5回 単位になるとか)は新年度の目玉企画です。伊那中央ロータリークラブも本部の意向に添って出前講座の開催、職場の訪問を予定して参ります。各会員のご協力をお願い申し上げます。

⑤社会奉仕部会 唐澤敏治 次期職業・社会奉仕副委員長



・社会奉仕委員会

出席者36名、9名ずつのグループに分かれディスカッション形式で行われた。

・委員会の目的、目標

2016-2017年度RI第2600地区原拓男ガバナーが掲げる「原点に戻り新たな改革を」の標語のもと、地区クラブ内に情報・知識・スキル・機会等を提供し、地域での社会奉仕活動がより効果的に展開できるようにサポートする。

・今年度の計画・重点事業

地区内各クラブ社会奉仕活動の情報等が共有できるシステム作りの検討、研修会等の開催、又地区事業への積極的な参加・協力。

・地区補助金の仕組みについての説明があり、2015-2016年度ロータリー財団補助金助成クラブの明細をいただきました。

⑥青少年奉仕部会 下井達典 次期青少年奉仕委員長



青少年部会は先ずカウンセラーの中川P.D.Gより、青少年育成の重要性と地区予算の三分の一がこの関係に充てられている。各RCと Rtnは育成に関わっていますか、との挨拶から始まりました。続いて青少年奉仕委員会より、RIと地区のプログラムでもあるライラ(RYLA)、インターアクト(IAC)、ローターアクト (RAC)の 概要説明がありました。IACはなんとか存続している不活発クラブと、RACは会員数減少が大きな課題のようです。

各小委員会の発表と説明は次の通りです。

1. RYLAは事業内容と開催日が説明されました。今年のRYLAは9月24日(土).25日(日)の2日間松本市で開催されます。ホストは松本東RC。
登録費は説明がないので前年並みと思います。
2. IACは小委員会内の課題と事業が説明されましたが、課題については提唱していないRCは何の事か判らなかつたと思います。IA地区協議会は来年4月に、IA地区大会は来年6月との事で日付けや詳細は不明です。登録費は説明がないので前年並みと思います。
3. RACは活動概要と事業内容が説明されました。アクターミーティングが11月23日松本市でホストは松本RAC。年次大会は来年5月15日で長野市でホストは長野東RAC。登録費は説明がないので前年並みと思います。
4. 青少年育成プログラム危機管理委員会よりー 青少年交換事業により他国へホームステイをした派遣学生がセクハラ等に遭う事態が発生している。事態原因に依り訴訟と成っている事例もある。交換学生に限らず青少年育成に携わるRtnは 十分に注意をして下さい。そのような時は委員会に一報して下さい。

説明後はRYLA・IAC・RACの3グループに分かれてミーティングとなりましたが、小委員会の説明が改めて発表されていました。

RYLAは各RC共通の参加行事ですが、地区内でIAC・RACを提唱しているのは15RCのみです。提唱していないRCにプログラムの理解を訴えるのは必要ですが、提唱外RCは独自の育成活動を行っているクラブも多く、他クラブの活動を識る好機会でもあったのですが、3プログラム以外は触れられる事もなく終了となりました。

⑦国際奉仕部会 小向誠一 次期国際奉仕委員長



3つの事柄の構成で組み立てられた講義でした。1つには青少年交換事業で、これは青少年委員会とダブルなのでそちらの委員からの報告があらうかと思ひます。2つには財団に於けるDDF・WF等運用に関する事で財団担当の方から説明があると思ひます。最後に国際奉仕委員会として、世界社会奉仕活動の恩恵、即ちWCS活動の恩恵は援助される人々だけでなく、活動に参加した私達ロータリアンも受ける事を実感して下さい。私達の活動によって助けられた人々の喜びを目の当たりにする時、私達奉仕を实践したロータリアンも大きな喜びを手に入れる事ができます。更に国際理解や親睦を一層深めていく事が出来るのです。奉仕の相手だけではなく奉仕をした自分も満たされるのが真の奉仕です。これが目的であり実践効果です。

■ 点 鐘

13:30

次回例会

4月12日(火) 12:20～「友好桜例会」 於:分水RC友好桜前(伊那中央病院)
13:00～「通常例会」 於:例会場(海老屋料理店)